

## SAPジャパン/コベルコシステム

### AOKIホールディングスがSAP ERP6.0でグループ全体の基幹業務システムを刷新

SAPジャパンとコベルコシステムは、AOKIホールディングス（本社：神奈川県横浜市）が、SAP ERP 6.0を導入し、グループ全体の基幹システムを刷新したことを発表した。

AOKIホールディングスは、グループ会社であるファッション事業のAOKI、アニヴェルセル・ブライダル事業のアニヴェルセル、エンターテインメント事業のヴァリックの経営管理を行っている。新規出店数が年々加速的に増加する中、業種・業態が異なるグループ会社の経営判断を行うためのデータ集積の迅速化、連結決算業務の効率化などが喫緊の課題となっていた。このような背景のもと、AOKIホールディングス、および各事業会社では、今後のさらなる店舗拡大や将来的なグローバル化の可能性など、10年先の経営を見据えた「変化に対応できるしくみ」作りを目指し、グループ全体でシステムの統一化を図ることを決定した。

AOKIホールディングスでは、2011年に新システム導入の検討を開始、複数社のシステムを比較した結果、SAPジャパンとコベルコシステムの提案をもとにした新システムの構築を決定した。導入決定においては、急速な事業拡大にも柔軟に対応できるSAP ERPの拡張性が評価された。また、今後のIFRS（国際財務報告基準）対応も視野に入れ、IFRS対応帳票を数多く備え、この分野におけるグローバル実績が豊富なことも決定の要素となった。さらに、コベルコシステムのSAP ERP導入における豊富な実績と提案力も決め手になった。

新システムは、2012年3月に導入プロジェクト（AMISプロジェクト）を開始し、2013年4月に稼働を開始した。

SAPジャパン TEL：0120-786-727  
コベルコシステム TEL：0120-75-0044

## 日本IBM

### IIJグローバルがクラウドサービス提供基盤に「PureFlex System」を採用

日本IBMは、IIJグローバルソリューションズがインターネットイニシアティブ（IIJ）のクラウドサービス「IIJ GIO サービス」のラインナップとして提供する、IBM i向け「IIJ GIO Power-i サービス」の基盤として、IBMの統合型システム「IBM PureFlex System」が採用されたことを発表した。

IIJグローバルは、新サービスの開始にあたり、運用管理の負荷を抑えながら、利用者に対して短期間でサービスを提供開始でき、かつ、今後の急激な利用者の拡大にも耐えられる信頼性と拡張性の高いシステム基盤を求めている。

今回IIJグローバルが採用した「PureFlex System」には、サーバ、ストレージ、ネットワークなど、クラウド基盤構築に必要なハードウェアがあらかじめ最適に統合されているため、従来の製品よりも迅速な稼働開始を実現し、新サービスの安定的な提供を支えている。

新しいシステム基盤は、POWER7プロセッサを搭載する高性能・高信頼な「IBM Flex System p460 コンピュート・ノード」、「IBM Flex System p260 コンピュート・ノード」とストレージ「IBM Storwize V7000」で構成されている。当基盤は、簡単な操作により、ハードウェア、ネットワーク、ストレージを一元管理できる「IBM Flex System Manager」によって管理される。POWER7プロセッサを搭載したコンピュート・ノードは、業務停止を防ぐ多種多様な機能が実装されたPower Systemsのテクノロジーを実装しており、運用管理の負荷を抑えながら高い可用性を実現している。

日本IBM TEL：03-3808-5120